

CASBEE 広島 2016年版			■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版					
学校法人修道学園広島修道大学新体育館建設工事			欄に数値またはコメントを記入		■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)			
スコアシート		実施設計段階						
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境					0.40	-	-	3.2
1 音環境				2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音				3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能				3.0	0.79	-	-	
2 界壁遮音性能				3.0	0.09	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.06	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.06	-	-	
1.3 吸音				1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境				2.3	0.35	-	-	2.3
2.1 室温制御				2.4	0.50	-	-	
1 室温				3.0	0.44	-	-	
2 外皮性能				1.0	0.29	-	-	
3 ゾーン別制御性				3.0	0.26	-	-	
2.2 湿度制御				1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式				3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境				4.3	0.25	-	-	4.3
3.1 昼光利用				3.6	0.30	-	-	
1 昼光率		【学】研究室用途の部屋の昼光率2.25～2.6%		4.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口				-	-	-	-	
3 昼光利用設備				3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策				4.0	0.09	-	-	
1 昼光制御		【学】主要室は、庇とロールスクリーンによりグレアを制御している。		4.0	1.00	3.0	-	
3.3 照度		【学】主要室の設計照度は500lxを確保。		4.0	0.19	3.0	-	
3.4 照明制御		【学】主要室において、無線による自動照明制御システムを採用		5.0	0.43	3.0	-	
4 空気質環境				4.1	0.25	-	-	4.1
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		建材は告知対象外の建材及びJIS・JAS規格のF☆☆☆☆を採用		4.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気				4.3	0.30	-	-	
1 換気量		建築基準法の1.4倍以上の換気量を確保		5.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能		【学】自然換気有効開口面積が居室床面積の1/15以上		5.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理				4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御		建物内禁煙		5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.4
1 機能性				3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性				-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応				-	-	-	-	
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の誘導基準を望ましいレベルで満たしている		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性				2.7	0.30	-	-	
1 広さ感・景観				1.0	0.15	3.0	-	
2 リフレッシュスペース				-	-	-	-	
3 内装計画				3.0	0.85	-	-	
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		【学】維持管理に配慮した取り組み数7つ、【集】取り組み数6つ		4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		湿気の高い部屋のダクトは全てガリバリウム鋼板ダクトを採用		5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材の採用		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性				2.6	0.20	-	-	
1 空調・換気設備				3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20	-	-	
3 電気設備				3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備				2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.9	0.30	-	-	3.9
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	【学】階高4.8m以上	5.0	0.18	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	【学】壁長さ比率0.145、【集】壁長さ比率0.037	5.0	0.82	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地域性に配慮した取り組み数4つ	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			4.3	0.20	-	-	4.3
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型便器を全体的に採用。	4.0	0.40	-	-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	-	3.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床材(タイルカーペット)	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取り組み	LGS工法、移動間仕切りの採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.3	0.20	-	-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	GWP値の低い断熱材の採用	4.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮			4.3	0.33	-	-	4.3
2 地域環境への配慮			3.3	0.33	-	-	3.3
2.1	大気汚染防止	燃焼機器を使用していない。	5.0	0.25	-	-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.33	-	-	
2	振動		3.0	0.33	-	-	
3	悪臭		3.0	0.33	-	-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3	光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	